

分野：①自然への愛着

生活科「小さななかまたち」

環境アドバイザー

横山 隆

対象 川口市立安行小学校 2年(67人)

所要時間



2時間

場所 安行原自然の森

実施時期

令和2年7月22日

概要

学校に隣接する自然地で、自然とふれあい、生き物観察をする。

プログラムの
ねらい

動物、植物など子供たちの興味のあるものを採取する。
分からない事があったらアドバイザーに質問する。
子供たちの生き物への関心が広がるようにする。

プログラムの内容

1. 始まりの会 (アドバイザーが進行)

あいさつ アドバイザー紹介
斜面林の仕組み・貴重種紹介

2. 活動

個別活動

虫とり・ザリガニとり・植物採集
アドバイザーに質問

3. まとめ (アドバイザーが進行)

見つけた生き物の紹介
森にお礼

御自身の活動の様子や使用する教材や器材の
写真を必ず1枚以上添付

※受講者等が写る場合は、被撮影者の了解を得たものにする等、プライバシーに配慮したものを御使用ください。

※掲載位置は自由です(裏面又は各欄中)

受講者の反応

バッタ、チョウ、ザリガニ、植物など、本物に触れることで、子供たちは生き生きと活動していました。

最後に雨に降られましたが、森での良い体験になったと先生からお話がありました。

環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要



分野：①自然への愛着

生活科「小さな仲間達」

環境アドバイザー

神山 裕則

対象 川口市立安行小学校 2年(67人)
(4, 5組)所要時間  2時間

場所 安行小学校→安行原自然の森

実施時期 令和2年7月22日

概要

- ・学校を出発して、安行原自然の森にて、自然観察・自然遊び体験

プログラムの
ねらい

- ・安行原自然の森を散策し、動植物の様子を見たり触ったりする。
- ・安行原自然の森の湿地に、どんな生きものが居るか調べる。

プログラムの内容

1 導入(7分)

マヤランの話し 絶滅危惧種があることの自然の多さを、知る。(多様な)

2 自然の森探検観察(■80分)

- ・台地にて、マヤラン等を見る。
- ・斜面林にて、クヌギ・コナラ・アカシデの木々の生きもの探し。
- ・低地 ヤブカラシ・ヤツデのウサギ・オオバコ草相撲など。草遊びをいれる。
- ・湿地
 - ・カラムシ・ツククサの色染め遊び ザリガニ仕掛け(網に、イかを入れておいておく)



3, まとめ 見つけた物を発表し合う。

受講者の反応

- ・活動が楽しかった子というと、ほとんどの子が手を上げた。
- ・ザリガニが、とれたことが自慢の子が多かった。
- ・いろいろな野草をまとめて、花束を作っていた子も居た。